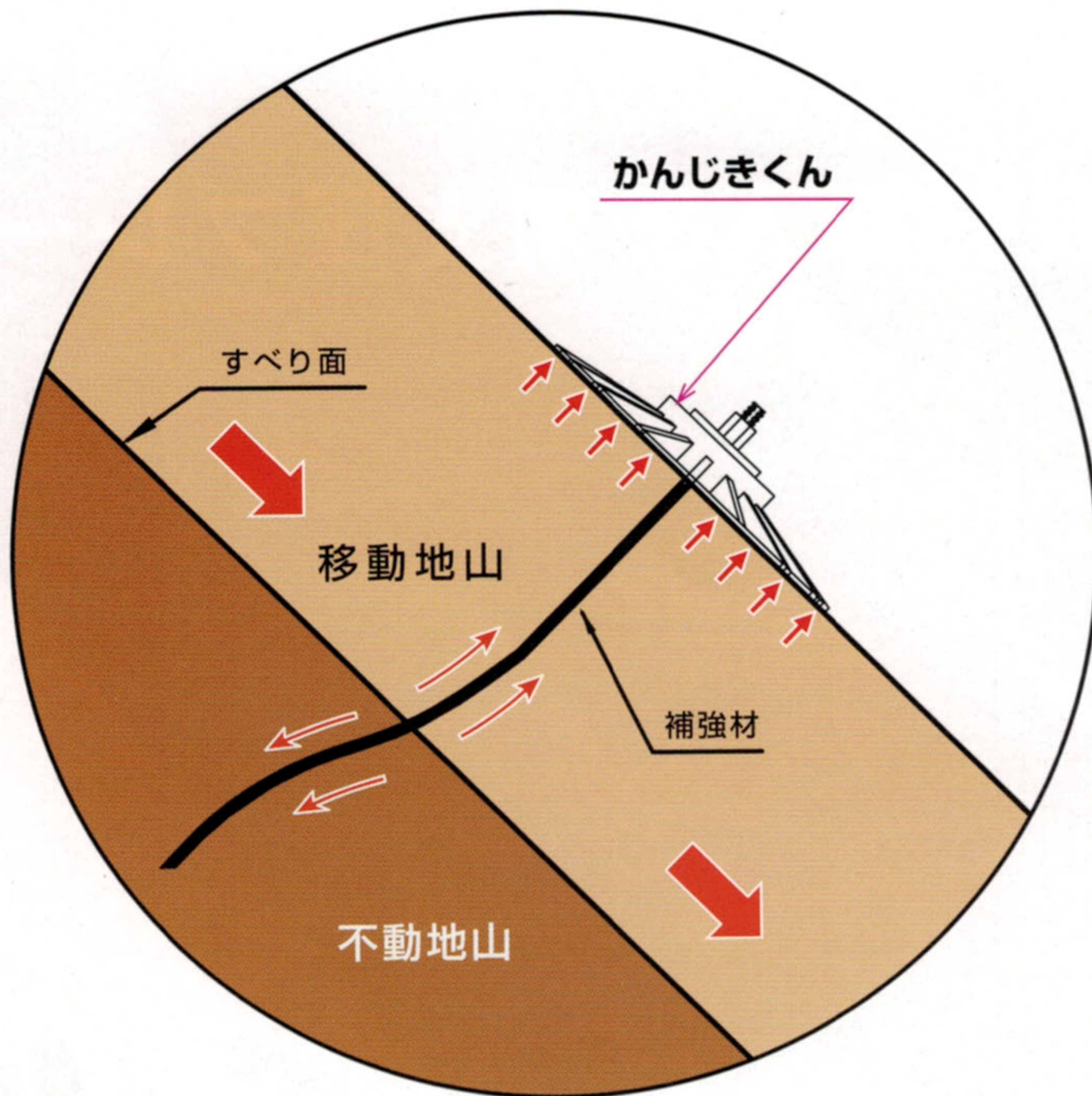


支圧プレート **かんじきくん**

かんじきくんの特徴



地山と補強材との相互作用により斜面を安定化させる補強土工法において仮想支圧面積 (0.20m²/枚) を持つ「かんじきくん」は、補強材に生じた軸力をより効果的に地盤へ伝達し、不安定土塊の動きを拘束して斜面の安定を向上させます。

約8kgと小型軽量なため人力での設置が容易で、急傾斜地での施工性に優れています。

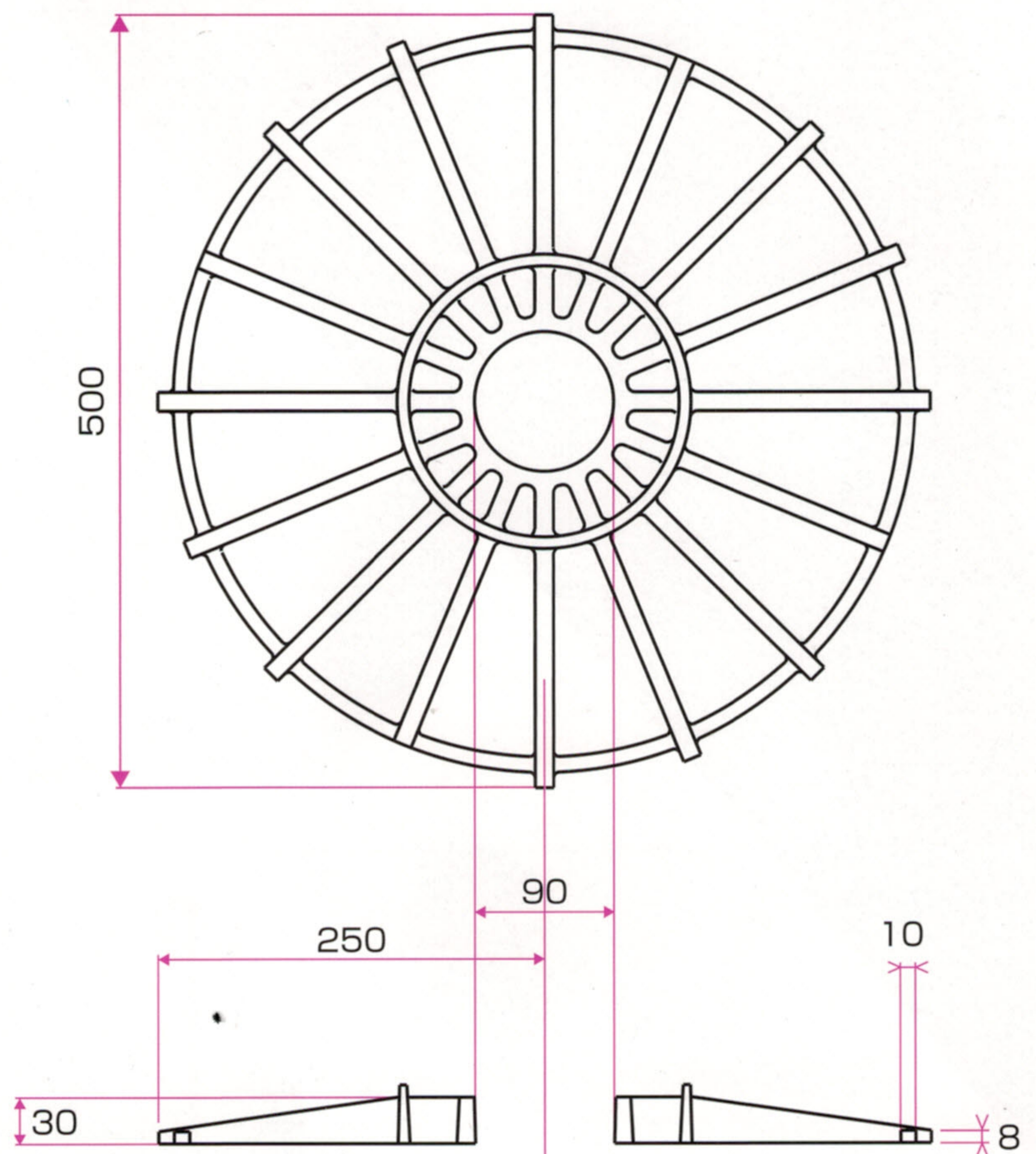
工場製品のため、品質も安定しており、工期短縮を目的とした逆巻き工法にも対応できます。また、製品形状が円形なので設置時の方向性を考慮する必要もありません。

「かんじきくん」の最大の特徴である支圧面を取り除いた大胆な発想が（構造が）全面緑化を可能に致しました。

かんじきくんの特性

種類の記号	引張強さ	耐力	伸び	許容設計荷重	重量	表面処理	仮想支圧面積
	N/mm ²	N/mm ²	%	kN/枚	kg/枚	亜鉛メッキ加工	m ² /枚
FCD 600-3	600 以上	370 以上	3 以上	50	7.7	HD Z-55	0.2

施工例



重量約8kg！ 人力にて、らくらく設置可能。
形状が円形のため、取付時に配置傾きを気にする必要がありません。



かんじきくんの支圧効果

のり面工低減係数は「かんじきくん」を使用することで
 植生工法面で $\mu=0 \Rightarrow \mu=0.5$
 連続長繊維補強土工 $\mu=0.4\sim0.7 \Rightarrow \mu=0.7\sim1.0$
 と、大きな支圧抵抗が期待可能となります。

「かんじきくん」は支圧プレートとして単独で効果がありますが
 覆式ネット張り工、連続繊維補強土工、植生マット工などの、他の
 のり面保護工との組み合わせによってより効果が発揮されます。

のり面工タイプと支圧低減係数 μ の目安

のり面保護工タイプ	μ
植生のり面工	0.0
コンクリート・モルタル吹付工	0.2~0.6
のり砕工	0.7~1.0
擁壁類	1.0
「かんじきくん」単独使用	0.5
「かんじきくん」連続繊維補強土工と併用	0.7~1.0

かんじきくんの施工事例

住宅街 施工事例



緑化前



緑化後

災害現場 施工事例



施工前



かんじきくん施工後
(連続繊維補強土工との組合せ)



緑化工施工後

緑化状況



緑化されていく
「かんじきくん」



緑に包み込まれた「かんじきくん」